

黒潮流の概況

黒潮流軸付近の表面水温は26 台で、前号より-1 となっています。

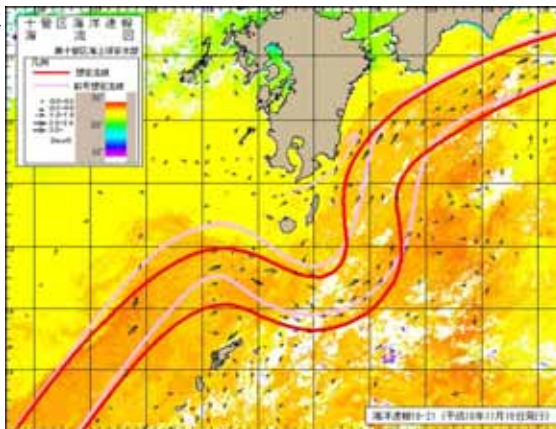
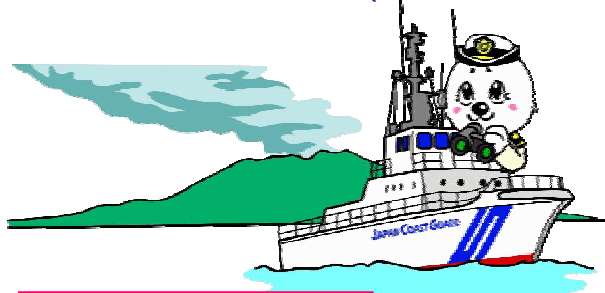
流軸の位置と水温	今号(10月27日~11月9日)			前号(10月13日~26日)		
	方 向	距 離	水 温	方 向	距 離	水 温
奄美大島(曾津高埼)	NE	75NM	26	NE	90NM	27
屋久島(黒崎)	WSW	70NM	26	WSW	55NM	26
種子島(門倉埼)	SE	70NM	26	S	55NM	26
都井岬	E	40NM	26	E	55NM	26

沿岸域の水温

沿岸海域の表面水温は26 台で、前号より-1~-2 となっています。

海 域	今号(10月27日~11月9日)	前号(10月13日~26日)
鹿児島湾	22~23 台	23~24 台
甕島列島~薩南海域	23~24 台	25 台
大隅海峡~種子島・屋久島周辺	24~25 台	25~26 台
日向灘沿岸域	23~25 台	25~26 台

十管区海洋速報
(海流図+NOAA衛星画像)



海と陸の境界は？

私たちが住んでいる市町村、都道府県や国の間に境界があるように、海と陸の間にも境目があり、海岸線と呼んでいます。海岸には常に波があり、潮が満ちたり引いたりしますので、絶えず、その海岸線の位置は変わります。そこで日本の海図では、海面が満潮時の「最高水面」と呼ばれる海岸線を、海と陸との境界と決めております。「最高水面」というのは、その場所において年間を通じて、満潮の高さや時間を観測した結果、もうこれ以上には海水が上がってこないであろうと考えられる海面のことです。

ところが、わが国では、重要な領域(領海など)を決める基準となる線は、満潮とは反対の干潮(低潮)の時、すなわち、もうこれ以上には海水が引かないと考えられる海面(最低水面)を基準とした線(領海など)決定しています。これは海岸線とは呼ばず、低潮線と呼んでいます。この低潮線と海岸線との間には、高潮時には海になり、低潮時には陸になる干出(かんしゅつ)と呼ばれる部分があり、干潟(ひがた)と呼ばれる場所もそのひとつです。

また、このような大切な基準を決めるため、海上保安庁では全国の海岸に験潮所を設置して、潮の満ち引きの観測を行っています。

その他、海に関する情報に関しては、海の相談室をご利用ください。

URL : <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/>